

チャペル週報

No.5

2022.5.16～5.20

わたしは福音を恥としない。福音は、ユダヤ人をはじめ、ギリシア人にも、信じる者すべてに救いをもたらす神の力だからです。

(ローマの信徒への手紙 1章 16節)



時計台 (西宮上ヶ原キャンパス)

関西学院宗教センター

関学レインボーウィーク ―多様な性／生との出会いの場―

阿部 潔

今年も関学レインボーウィークの季節が訪れた。今回は「十人十色～隠レインボー（かくれんぼ）しなくてもいい関学へ～」とのタイトルのもと三年ぶりに対面で諸行事が行われる。本学でのレインボーウィークは10周年を迎える。これまで続けられてきたのは、ひとえに毎年の企画準備と運営に献身的に関わってきた教職員と自主的に参画してきた学生有志の尽力の賜物である。

この10年間でいわゆる「LGBTQ」に関する世間の認識やメディアでの取り上げ方は大きく変わった。それは大学でも同じだ。今では政治家や企業リーダーたちがこの言葉を口にするのは珍しくない。だが忘れてならないのは、たしかに「知らない」よりは「知ってる」ほうが良いけれど、まだまだ「知らない」ことがあると自覚し続けることが「レインボー」への取り組みでなによりも重要だという点である。なぜならばLGBTQにかぎらず「マイノリティー」と呼称される人びとや集団の実際のあり方は、きわめて多様で個別なものだからだ。

では、そうした多様な性／生のあり方をどうしたら知ることができるだろうか。その機会こそが、関学レインボーウィークにほかならない。オープニングイベント・パネル展示・講演会・映画上映・トークイベントといったさまざまな催しに参加することで、これまで「知っていた」ことに加えて、まだまだ「知らない」事実に出会うことだろう。学内を彩る鮮やかなレインボーカラーに誘われて、本学キャンパスに集う多様な人びとの一人でも多くが、新たな出会いの機会に恵まれることを願っている。

建学理念であるキリスト教主義と人権思想を柱に据えて、10年間にわたりレインボーウィークが続いてきたことは関学の誇りである。同時にそれは、今後も「よき伝統」をさらに豊かなかたちで継承していく責任も意味している。神への祈りに終わりが無いのと同じで、すべての者の人権の実現に向けた取り組みにも安易な終着点などない。現実の世界・社会のもとで与えられたいま／ここでのあり方に甘んじることなく、約束されたそのとき／あそこを目指し地道な歩みを刻み続けること。そうした日々の営みの中にこそ、来るべき未来での救いと解放の光が潜んでいるに違いない。

どうかみなさん、それぞれの仕方で関学レインボーウィークを楽しく過ごしてください。

(社会学部教授)

2022年度(第10回)関学レインボーウィーク

<https://kgrainbowweek.com/index.html>



チャペルアワー スケジュール

西宮上ヶ原キャンパス、西宮聖和キャンパス・・・10:30-11:00
神戸三田キャンパス・・・10:40-11:10

5/16 月

神 打樋 啓史 (社会学部宗教主事)
経 レインボーウィークを迎えて 李 相勲 (宣教師)
人 音楽チャペル ウィメンズ・グリークラブ
建 山崎 亮 (建築学部教授)
聖和 山内クラス・ダッドレーチャペル

17 火

神 加藤 満 (神学研究科 M2)
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
社 マンドリンクラブ
法 富田 宏治 (副学長、法学部教授)
経 最初の一人として① 舟木 讓 (宗教主事)
商 伊藤 正範 (商学部教授)
国 平林 孝裕 (宗教主事)
理・工・生環 レインボーウィークについて(1) 薄井 良子 (日本聖公会奈良基督教会信徒)
総 澤田 有希子 (人間福祉学部准教授)
教 梶原 直美 (宗教主事)

18 水

神 李 善恵 (宣教師)
社 私にとっての「関西学院」④ 武田 文 (人間福祉学部長)
法 Christian M. Hermansen (宣教師)
商 李 相勲 (経済学部専任講師、宣教師)
人 福留 洋平 (神学研究科 M1)
国 平林 孝裕 (宗教主事)
理・工・生環 レインボーウィークについて(2) 前川 裕 (宗教主事)
教 橋詰 旺昇 (教育学部 4 年生、宗教総部)

19 木

神 私の出会い⑥ 柳澤 田実 (神学部准教授)
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
社 私にとっての「関西学院」⑤ 難波 功士 (社会学部教授)
法 三宅 直基 (NPO 法人かめのすけ)
経 "new-look" の働きを覚えて 山口 真史 (一般社団法人 new-look 代表理事)
商 木原 桂二 (宗教主事)
人 嶺重 淑 (宗教主事)
国 Chapel in English Eun Ja Lee (宣教師)
総 宗前 清貞 (総合政策学部教授)
聖和 中道 基夫 (関西学院院長)

20 金

神 金 昭貞 (神学研究科 M2)
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 最初の一人として② 舟木 讓 (宗教主事)
院 復活後のイエス③ 井上 智 (宗教センター宗教主事)
理・工・生環 Christian Triebel (KSC 宣教師)

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:10~8:30 ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)
5月20日(金) 春季宗教運動を覚えて 藤井 美和(宗教活動委員長)
Zoomでご参加希望の教職員・学生の方は、宗教センター(shukyocenter@kwansei.ac.jp)へ
①メールアドレス②お名前③所属④関学との関係(学生等)をメールでお知らせください。

●関西学院大学文化総部書道部「聖句展」

チャペル週報の聖句掲示でご協力いただいている書道部による恒例の展示会です。

と き: 5月16日(月)~20日(金)

9:00(初日は10:30から)~17:00(最終日は15:00まで)

ところ: 吉岡記念館1階ラウンジ

主 催: 宗教センター

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急大阪梅田駅から徒歩すぐ、アプロースタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。

【どなたでもご自由にご参加ください。】(17:50~18:20 1405教室)

5月主題: 平和を求めて

5月19日(木) 井上 智(宗教センター宗教主事)

5月26日(木) 打樋啓史(宗教総主事)

●関西学院会館ベーツチャペル日曜礼拝

授業期間中の第二・第四日曜日(原則)の午前10時から関西学院会館ベーツチャペルでは日曜礼拝を行っております。

どなたでも(クリスチャンでなくとも)ご参加できますのでどうぞお越しください。

5月22日(日) 10:00~11:00

●ランバスチャペル・ヌーンコンサート

西宮上ヶ原キャンパスの正門を入れて右手に見えるチャペル「ランバス記念礼拝堂」では、関学を代表する音楽団体による恒例のヌーンコンサートが開かれています。お昼休みのひととき、どうぞ耳を傾けてみてください。

5月26日(木) 関西学院大学混声合唱団エゴラド

5月27日(金) 関西学院大学応援団総部吹奏楽部

6月23日(木) 関西学院ハンドベルクワイア

6月30日(木) 関西学院ウィメンズ・グリークラブ

7月 7日(木) 関西学院交響楽団(管楽アンサンブル)

7月 8日(金) 関西学院交響楽団(弦楽アンサンブル)

7月15日(金) 関西学院聖歌隊

いずれも12時45分~13時15分

ところ: ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)

主 催: 宗教センター・宗教音楽委員会

●ボランティアに関心がある皆さんへ(ヒューマン・サービス支援室からお知らせ)

単発のボランティアや継続して関わるボランティア団体・サークルの紹介をしています。

[相談予約・お問い合わせフォーム]

個別にボランティアの紹介や相談対応をしています。

<https://onl.tw/UBvnyqX>

[春のボランティア情報誌『春ボラ』]

https://www2.kwansei.ac.jp/kwansei_c_volunteer/2022/

関西学院宗教センター

<https://www.kwansei.ac.jp/about/chapel/>

